

第67回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成22年1月20日（水）午後1時00分～午後3時40分
場 所 第1会議室
出席者 野口学長、佐久間理事、野口(哲)理事、馬場理事、出田文学部長、塚原理学部長、
清水生活環境学部長、岩渕人間文化研究科長、富崎附属図書館長、中島附属学校部長、
小路田、三野、荒木、角田、今岡、小城、今井、棚瀬各評議員
列席者 岡監事、外嶋総務・企画課長、大原研究協力課長、水谷財務課長、荒生施設企画課長、
藤熊学務課長、増間学生生活課長、竹下入試課長、小田原国際課課長補佐

議事に先立ち、前回記録を確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程の改正等について

(1) 奈良女子大学附属中等教育学校校則一部改正について

附属学校部長から、資料1-1により改正（案）の趣旨及び概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認し、本日付けにて施行し平成21年4月1日から適用することとした。

(2) 奈良女子大学附属図書館長選任規程一部改正について

(3) 奈良女子大学附属学校部長選任規程一部改正について

(4) 奈良女子大学附属学校長選任規程一部改正について

学長から、資料1-2, 1-3, 1-4により改正（案）の趣旨及び概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認し、本日付にて施行することとした。

2. ベトナム ハノイ貿易大学及びハノイ大学との大学間交流協定の締結について

佐久間理事から、資料2-1及び2-2によりベトナムのハノイ貿易大学及びハノイ大学との大学間交流協定の締結に向けた検討の経緯並びに大学概要及び締結の必要性について説明があり、また、学長から締結の有効性について意見があり、審議の結果、これを承認し、締結の手続きを進めることとした。

その後、評議員から、ベトナムの生命科学分野における若手研究者の海外派遣制度について説明があり、ベトナムを含む東南アジア諸国との研究者交流の推進について提案があった。

3. 次期中期目標・中期計画の提出について

学長から、次期中期目標・中期計画(原案)の提出にあたり、大学の機能別分化を進めるため、各国立大学法人の特性を踏まえた一層の個性化が明確になるよう文部科学省から指示があったことから、女子大学という本学の特性を出すよう修正を行ったことの経緯説明の後、資料3により具体的な修正箇所の説明があった。審議の結果、「意見に関する対応状況」(案)

の一部を修正することとして原案どおり承認し、経営協議会へ提案することとした。

4. 平成22年度の予算編成方針(案)について

学長から、平成22年度予算編成方針(案)に係る基本的な考え方及び重点施策経費について資料4により説明があり、審議の結果、教育経費、研究経費等の基盤経費の単価を含む具体的な予算編成については改めて提案することとして、原案どおり承認し、経営協議会へ提案することとした。

5. その他

・名札着用について

学長から、不審者対策として、学外者と区別するため、全職員に対し職員証を名札として着用することを教育研究評議会決定事項として推進したいとの提案があり、これを承認した。また、評議員に対し、名札及び名札ケースの配付があり、まずは評議員から着用願いたいとの依頼があった。

学長から、審議事項「5. その他(1) 教育研究に関する諸課題について」は、報告事項の終了後に審議したいとの発議があり、これを了承した。

報告事項

1. 次期学部長候補者について

学長から、任期満了に伴う次期学部長について次のとおり報告があった。

文学部長 三野 博司 文学部教授

任期 平成22年4月1日～平成24年3月31日

理学部長 塚原 敬一 (現理学部長・再任)

任期 平成22年4月1日～平成24年3月31日

2. 第66回役員会について

学長から、第66回役員会(12月25日(金)開催)の審議概要について報告があった。

3. 平成20年度決算検査報告説明会について

馬場理事から、12月17日に開催された会計検査院平成20年度決算検査報告説明会における説明概要について資料6により報告があり、研究費の不正経理防止の徹底について周知願いたいとの依頼があった。

4. 大学教員の再雇用運用方針(案)について

学長から、大学教員の再雇用方針(案)について資料7により説明があり、再雇用教員が出席する教授会等については、学部によって教授会の在り方が異なることから、各学部において検討願うこととした。

5. 2009年度JICA青年研修事業：アフガニスタン女子教育研修の実施について

佐久間理事から、アフガニスタン女子教育研修に係る1月22日(金)の本学での研修プロ

グラムについて資料8より説明があり、昼食歓迎会への参加について協力依頼があった。

6. アジア・ジェンダー文化科学研究センター協力研究員受入内規について

佐久間理事から、アジア・ジェンダー文化科学研究センターへの協力研究員の受入れに係る内規を制定したことについて資料9により報告があった。

7. 「21世紀COEプログラム(平成16年度採択拠点)」並びに「生涯にわたる女性研究者共助システムの構築」の事後評価結果について

佐久間理事から、資料10-1により平成16年度に採択され平成20年度に事業を終了した21世紀COEプログラムの事後評価結果について、また、資料10-2により科学技術振興調整費(女性研究者支援モデル育成)「生涯にわたる女性研究者共助システムの構築」の事後評価結果について報告があった。

8. 決算早期に伴う「各種提出書類にかかる締切日について」

財務課長から、中期計画最終年度にあたる今年度決算の早期化に伴い、支払い処理に係る各種提出書類の締切日について資料11により説明があり、締切日の厳守について協力依頼があった。

9. 平成21年度予算執行実績(平成21年11月末)について

財務課長から、資料12により、11月末の予算執行実績について報告があり、早期予算執行について依頼があった。

10. シンポジウム「地域力・女性力を活かして男女共同参画推進」について

男女共同参画室長である附属図書館長から、資料13により1月31日(日)開催のシンポジウム「地域力・女性力を活かして男女共同参画推進」について案内及び参加依頼があった。

11. その他

- ・創立百周年記念事業募金に係る寄附の状況について(12月末現在)

総務・企画課長から、創立百周年記念事業募金に係る12月末現在の寄附状況について報告があった。

- ・長期海外留学報告会について

佐久間理事から、1月25日(月)に記念館で開催される長期海外留学生の報告会について資料により案内があった。

- ・大学センター入試について

学長から、1月16日及び17日に開催された大学センター入試についての協力に対する謝辞があった。

審議事項

5. その他

(1) 教育研究に関する諸課題について

学長から、早期に検討を必要とする「入学定員を含む教育研究組織の見直し」について

議論をお願いしたいとの提案があり、議論の前提として、本日現在の平成22年度大学院人間文化研究科(博士後期課程)入学志願者数について情報提供があった。

続いて議論が行われ、教育研究組織、入学定員見直しについて、将来を見据えた議論の必要性、学生の視点に立った検討の必要性、改組による教育研究効果の明示、改組に関する制約の確認の必要性、文部科学省との慎重な協議の重要性等について議論が行われた。

学長から、組織改革については、今後も改革の内容を含む大きな範囲で議論を進め、その過程で視点を絞った議論へと進めていきたいとの説明があり、引き続き議論することとした。

以 上